

問1 室町文化において、武士の精神に大きな影響を与え、水墨画や書院造の基礎となった教えを何という？

1. 禅宗 2. 浄土宗 3. 浄土真宗 4. 日蓮宗

問2 応仁の乱の後、実力のある者が上の立場の者を倒して勢力を広げた、戦国時代の風潮を何という？

1. 一揆 2. 下剋上 3. 一門 4. 落胤

問3 後醍醐天皇による天皇親政が始まるきっかけとなった、1333年に滅亡した武家政権は何か？

1. 江戸幕府 2. 室町幕府 3. 鎌倉幕府 4. 明治政府

問4 京都の北朝と吉野の南朝の対立を終わらせ、南北朝を合体させた室町幕府の第3代将軍は誰？

1. 足利義詮 2. 足利直義 3. 足利尊氏 4. 足利義満

問5 室町幕府が、明との貿易船を正式なものと証明するために使用した札を何という？

1. 勘合 2. 印章 3. 符節 4. 公驗

問6 15世紀に統一され、中継貿易で大きく繁栄した島はどこ？

1. 五島列島 2. 沖縄本島 3. 種子島 4. 佐渡島

問7 勘合貿易において、正規の貿易船を証明するために、明側と日本側で半分ずつ持った札のことを何という？

1. 撰銭令 2. 通行手形 3. 勘合符 4. 合い札

問8 室町時代に中継貿易で日本や東南アジアと活発にやり取りをしていた国はどこ？

1. タイ 2. フィリピン 3. 中国 4. 朝鮮

問9 明との貿易を開始し、倭寇の取り締まりを行った室町幕府の三代将軍は誰？

1. 足利義政 2. 足利義満 3. 足利尊氏 4. 足利義教

問10 室町時代に歌舞劇である能を芸術的に高め、大成させた、室町幕府の第3代将軍は誰か？

1. 足利義満 2. 足利義政 3. 足利義教 4. 足利尊氏

問11 室町時代、細川氏が実権を握り、明との間で行われた貿易を何という？

1. 中継貿易 2. 南蛮貿易 3. 朝貢貿易 4. 勘合貿易

問12 室町時代に回数が増え、貨幣経済が浸透するきっかけとなった定期的な市場のことを何という？

1. 問屋 2. 仲買 3. 定期市 4. 座

問13 浦島伝説が収められている、奈良時代に編集された日本最古の歌集を何という？

1. 万葉集 2. 新古今和歌集 3. 古今和歌集 4. 拾遺和歌集

問14 世阿弥が追求した、能の基礎となる芸術的な美しさを何という？

1. 数寄 2. 幽玄 3. さび 4. わび

問15 室町時代に、幕府から地方の軍事・行政権を与えられ、領地を支配した地方官を何という？

1. 国司 2. 探題 3. 守護 4. 地頭

問16 室町時代の定期市において、広く流通していた中国から輸入された銅銭を何という？

1. 富本銭 2. 寛永通宝 3. 和同開珎 4. 宋銭

答え合わせ・解説

問1	答え 1 禅宗	禅宗は、単なる宗教だけでなく、茶の湯や華道、水墨画などの芸術にも強い影響を与えました。室町時代の文化の中心地となった京都の五山寺院を中心に、多くの僧侶が教えを広め、質素で引き締まった精神性を重視する独自の文化が形成されました。
問2	答え 2 下剋上	「下剋上」とは、下位の者が上位の者を実力で倒して支配権を奪う、戦国時代特有の世の中の秩序を指します。守護大名が家臣や国人に実権を奪われる事態が各地で相次ぎました。
問3	答え 3 鎌倉幕府	鎌倉幕府は、北条氏が実権を握り、武士による裁判や土地支配を行う仕組みを整えていました。しかし、1333年に足利尊氏や新田義貞の活躍によって滅亡しました。これにより約150年続いた武士による支配体制が一時的に崩れることとなりました。
問4	答え 4 足利義満	室町幕府の第3代将軍である足利義満は、力のある守護大名を抑え込むと同時に、1392年に南朝の天皇から北朝の天皇へ位を譲らせる形で南北朝を合体（統一）させました。
問5	答え 1 勘合	「勘合」は、日本と明がそれぞれ発行する二枚一組の符札です。これを照らし合わせることで貿易船の身分を証明しました。この札を持つ船だけが貿易を認められたため、この貿易を「勘合貿易」と呼びます。
問6	答え 2 沖縄本島	沖縄本島を中心とする琉球王国は、中国、日本、東南アジアの間に位置する地理的条件を活かしました。それぞれの国から仕入れた品物を他の国へ運ぶ「中継貿易」を行い、東アジアにおける物流のハブとして莫大な利益を上げました。この貿易を通じて、日本文化や中国文化も影響を受けました。
問7	答え 4 合い札	勘合符とは、明の皇帝が発行した証明書で、半分に割った「合い札」という形式をとっていました。日本からの使節団が到着した際、明側が持つ半分と突き合わせ、一致すれば貿易が許可されました。これにより、幕府の許可を得た船であることが証明され、安全な交易が可能となりました。
問8	答え 3 中国	中国は当時、非常に進んだ産業や文化を持っており、日本を含む諸国から製品が求められました。琉球王国などは、この中国と日本、あるいは東南アジア諸国の間に立って仲介役を果たすことで、大きな経済的恩恵を受けました。この物流のつながりが、当時のアジアの経済圏を支えていました。
問9	答え 2 足利義満	足利義満は室町幕府の三代将軍で、南北朝を合一させ、幕府の権力を安定させました。また、明との貿易を望み、海賊である倭寇を鎮圧することを条件に貿易を再開させ、経済的な基盤を整えました。京都に金閣（鹿苑寺）を建立したことでも有名です。
問10	答え 1 足利義満	義満は、観阿弥・世阿弥の父子による猿楽（能）の才能を高く評価し、強力な後援者となりました。これにより、能は庶民の芸能から武家社会でも愛される芸術性の高い芸能へと進化しました。また、彼は金閣を建てるなど北山文化を築いたことでも知られています。
問11	答え 4 勘合貿易	足利義満が開始した勘合貿易は、明の皇帝が発行した証明書である「勘合」を所持した船のみが貿易を許可される仕組みです。これにより倭寇と区別され、円滑で利益の大きい貿易が可能となりました。細川氏や大内氏といった有力な守護大名がこの貿易の実権を争い、大きな利益を得ました。
問12	答え 3 定期市	定期市は、3のつく日や6のつく日など、決められた日に地域の人々が集まって開かれました。農産物や手工業製品、そして中国から輸入された品々が取引され、流通拠点として商業が飛躍的に発展する場となりました。
問13	答え 1 万葉集	万葉集は、天皇や貴族だけでなく、防人や名もなき人々が詠んだ歌を約4500首も集めた巨大な歌集です。その中には浦島太郎の原型となる物語が含まれており、後世の文学や絵入りの物語に多大な影響を与えました。
問14	答え 2 幽玄	「幽玄」とは、単に美しいだけでなく、言葉では言い表せないほど深みのある美しさや、静寂の中にたどよう気品を指す言葉です。世阿弥は、単なる娯楽だった猿楽を、この「幽玄」を追求することで、高尚な舞台芸術へと高めました。
問15	答え 3 守護	守護は幕府に任命された地方の支配者で、軍事と警察権だけでなく、徴税権も認められるようになりました。これにより、守護は領地を支配する「守護大名」へと成長し、地域をより強力に統治するようになりました。
問16	答え 4 宋銭	宋から輸入された「宋銭」や、後の明から輸入された「明銭」が流通し、人々の生活に浸透しました。これにより、年貢も米だけでなく銭で納められることが増え、商品経済が飛躍的に活性化しました。